



健康福祉

申請・お知らせ

熱中症にご注意ください

◇秋の行楽シーズンですが、十分に暑さ対策を行って、熱中症を予防しましょう ◇無理な運動は避け、こまめな水分補給を ◇通気性のよい服装などを心がけましょう ◇体調の悪いときは早めに医療機関を受診しましょう **問**保健予防課258-2341(FAX258-2392)



国民健康保険に関するお知らせ

①葬祭費の支給

◇本市国保加入者が亡くなったとき、喪主に葬祭費が支給されます ◇国保加入後3カ月以内に亡くなったときなどは以前加入していた社会保険から支給されることがあります ◇必要なもの…保険証、埋(火)葬許可証か死亡診断書の写し、喪主の印鑑、本人確認ができるもの(運転免許証など)、振込先の通帳

②加入・脱退

◇退職などにより職場の健康保険の資格を喪失したときなどは国保への加入手続きが、国保に加入している人が就職などで職場の健康保険に加入したとき(加入者の被扶養者になったときを含む)は脱退の手続きが必要です

①②**共** **問**サンサンコールかごしま099-808-3333(FAX国民健康保険課216-1200)

③国保税の軽減・減免

◇倒産・解雇などにより離職したときや、失業(定年退職・自己都合退職を除く)や休・廃業、疾病などで所得が激減したときなど、国保税の納付が困難なときに軽減や減免が受けられることがあります **問**国民健康保険課216-1229(FAX216-1200)

今月の納期	
◇後期高齢者医療保険料	第4期
◇国民健康保険税	第5期
◇介護保険料	納期は10月31日まで

平成26年度重度障害者市民福祉手当の申請

対10月1日現在、20歳以上で本市に引き続き1年以上住み、身体・精神障害者手帳1・2級や療育手帳A₁・A₂・B₁を持つ人やこれらの障害と同程度以上と認められる人 ◇手当額…2万4000円(年額) **申**手帳、本人名義の通帳、印鑑を持って障害福祉課216-1273(FAX216-1274)か各支所の福祉課・保健福祉課へ

一部の高齢者福祉センターなどは高齢者以外も利用できます

◇浴室施設は除く ◇月曜・祝日は休館日 ◇事前に申請が必要

施設名	電話
高齢者福祉センター東桜島	221-2081
高齢者福祉センター桜島	293-2951
高齢者福祉センター郡山	298-2278
喜入老人憩の家	345-0170
すこやかランド石坂の里	278-0373

紙おむつなどの助成

内在宅の人は現物支給。入院中(介護療養病床を除く)の人は月額4000円を限度に購入費を助成 **対**紙おむつを使用している65歳以上で市民税非課税世帯の人(生活

保護世帯や介護保険対象施設入所者を除く) **問**サンサンコールかごしま099-808-3333(FAX長寿支援課224-1539)

リフォームヘルパーの派遣

内住宅改造などの相談や助言

対65歳以上の高齢者か身体障害者1・2級の人など **料**無料 **問**高齢者は長寿支援課216-1267(FAX224-1539)、障害者は障害福祉課216-1273(FAX216-1274)

住宅改造費の助成

内高齢者・重度身体障害者が身体に合った住宅に改造するための費用を助成 ※所得制限あり **対**要介護認定(要支援以上)を受けた高齢者か身体障害者1・2級の人 **問**高齢者は長寿支援課216-1266(FAX224-1539)、障害者は障害福祉課216-1273(FAX216-1274)

介護保険の助成

①福祉用具購入費

内指定の福祉用具販売事業所から、腰掛便座や入浴補助用具などを購入したとき、1年につき10万円を限度に購入費の9割を支給

②住宅改修費

内住宅に、手すりの取り付けや段差の解消などの工事を行ったとき、20万円を限度に改修費の9割を支給(改修前に申請が必要)

①②**共** **対**在宅で要介護、要支援の人 ◇利用者が全額負担した後、市が費用の9割を負担(申請により、利用者が1割負担し、残り9割を市が事業者に支給する方法もあります) **問**介護保険課216-1280(FAX219-4559)

10月は骨髄バンク推進月間・臓器移植普及推進月間

10月10日は目の愛護デー

◇骨髄バンクには、献血ルーム天文館や県赤十字血液センターでドナー登録ができます ◇臓器提供

の意思表示は、健康保険証や運転免許証、保健所などにある意思表示カードのほか、インターネットでもできます **問**保健予防課258-2351(FAX258-2392)

10月17日~23日は薬と健康の週間

◇薬や薬剤師の役割について正しく知り、薬を使用するときは医師や薬剤師などの専門家に相談して使用しましょう **問**生活衛生課258-2329(FAX258-2392)

フグの素人調理は危険です

◇フグの毒は加熱や冷凍ではなくなりません。調理には専門的な知識と技術が必要です ◇フグを家庭で調理するのは絶対にやめましょう **問**生活衛生課258-2331(FAX258-2392)

講座・催しなど

働き盛りのためのリラクゼーション講座inプラネタリウム

内講話、プラネタリウム、音楽鑑賞 **対**18歳以上の人 **期**10月17日(金)19時~20時30分 **所**市立科学館 **定**250人(先着順) **料**無料 **申**10月12日から電話で市立科学館250-8511へ **問**保健予防課258-2351(FAX258-2392)

かごしま温泉健康プラザ温泉活用講話

期10月15日(水)14時~15時30分 **定**20人程度(先着順) **料**無料(施設使用料が必要) **申**必要 **問**かごしま温泉健康プラザ252-8551(FAX252-8556)

動物愛護フェスティバル

内犬猫譲渡会、警察犬・しつけ方実演、かけっこなど **期**11月9日(日)10時~15時 ※荒天時は中止 **所**かごしま健康の森公園 **料**無料 **問**生活衛生課258-2321(FAX258-2392)



みんなで支える認知症

■認知症等見守りメイト養成講座受講者募集

内認知症の症状やケアに関する講義、施設での実習など **対**市内に住む人

	1日目	2日目	場所
平日	10月28日(火)	11月4日(火)	市役所
土曜	11月1日(土)	11月8日(土)	市教育総合センター

※1日目と2日目の間に半日の施設実習あり **定**なし **料**無料 ◇**申込期限** 10月21日(必着) **問**長寿支援課216-1186(FAX224-1539)

■認知症サポーター養成講座受講者募集

内認知症の人への対応などビデオ上映を交えた講話

対市内に住むか通勤する人

期10月20日(月)10時~11時30分

所精神保健福祉交流センター(はーと・ぱーく)

料無料

申電話かファクスで認知症の人と家族の会鹿児島支部257-3887(FAX同じ、火・水・金曜日の10時~16時)へ ※当日受け付けも可

■認知症介護の相談所

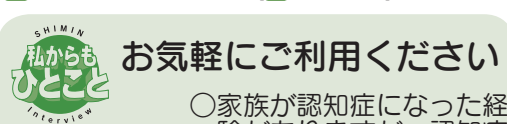
◇**相談時間** 10時~15時(市民相談センターのみ13時~16時)

◇開設場所など詳しくは認知症の人と家族の会鹿児島支部257-3887(FAX同じ)か長寿支援課216-1186(FAX224-1539)へ

■認知症等見守りメイトによる見守り支援の希望者募集

内生活状況の見守り、あいさつや声かけ、家族からの相談など

対市内に住む認知症などの高齢者 **問**長寿支援課216-1186(FAX224-1539)



お気軽にご利用ください

○家族が認知症になった経験がありますが、認知症の症状は身近にいても、最初は気づきにくかったり、認知症と受け止められなかったりすることが多いと思います。

○養成講座を受講して、認知症について学んだことで、認知症の症状や対応に関する理解が深まり、地域の高齢者へのあいさつや声かけがしやすくなりました。

○私たち認知症等見守りメイトの活動で、見守る家族の負担軽減や症状の緩和につながることもあります。

○あいさつや声かけ、ご家族の相談を受けるなどサポートしていきますので、お気軽にご利用ください。

高齢者などの予防接種

A肺炎球菌

種類	①定期予防接種	②任意予防接種
対 象	過去に23価肺炎球菌予防接種を受けたことがない人で、前年度末日に64歳、69歳、74歳、79歳、84歳、89歳、94歳、99歳、100歳以上の人か、60~64歳で心臓、腎臓、呼吸器機能に日常生活活動が極度に制限されるなどの障害がある人(身障手帳1級相当) ※100歳以上の人は26年度のみ	左記の対象者を除いた、接種日時点で75歳以上の人 ※任意接種は27年度まで実施

料①②とも3000円

Bインフルエンザ

対市内に住む65歳以上の人か60歳~64歳で心臓、じん臓、呼吸器機能に日常生活活動が極度に制限されるなどの障害がある人 **料**1000円

A B 共

◇**必要なもの** 住所、年齢が確認できるものなど

◇**接種場所** 委託医療機関

◇生活保護受給者と市民税非課税世帯の人は無料(証明が必要)

問保健予防課258-2358(FAX258-2392)

◇高齢者などの肺炎球菌予防接種は、10月から定期予防接種となりました
◇任意予防接種の自己負担額も変更になりました

